

平成30年度 第2回 大阪市立常盤小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立常盤小学校
校長名 三島 公徳

日 時	平成30年11月20日（火） 午後4時～午後5時30分		
場 所	大阪市立常盤小学校 多目的室		
出席者	委員など	福田雅史（会長） 高岡祥介（委員） 藤田実由貴（委員） 中定浩（委員） 石井有美（委員）	
	校園	三島公徳（校長） 林真美子（副校長） 望月幹雄（教頭） 辻野拓也（教務主任）	
	区役所	糸井課長	
議題	(1) 平成30年度「運営に関する計画」中間評価について (2) 全国学力・学習状況調査の結果について (3) その他		
協議要旨	協議の結果		意見の概要
	(1)	・取組内容、評価について、了承を得た。	「子どもが安心して成長できる安全な社会の実現」においては、防災教育の計画的な実施や道徳授業、実践研修を実施できている。また、不登校をはじめ様々な課題を有する児童が安心して過ごせる場所としての「ほっとスペース」が完成し数人の児童が継続的に利用している。 地域、区役所、関係機関、保護者の協力による防災学習や防災活動については、連携して実施できた。次年度に向けて実施方法や回数、内容を精査していく。 「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」においては、3年生以上の算数科の習熟度別少人数授業を計画的に実施できている。児童数が多いため、少人数の体制が難しいことから、今後、実施方法について教育委員会と相談しながら工夫して実施していく。 ・体力向上については、4年生以上を対象に放課後校庭開放を4月から実施するなど、運動時間の確保に努めているが、全体的に運動できる場所、時間の制限があるため、引き続き継続的な取り組みが必要である。
	(2)	・理解を得た。	・国語、算数、理科のいずれにおいても大阪市平均、全国平均より上回っているが、正答率8割以上と正答率2～3割にも分布していることから学力の二極化現象が見られる。今後の課題として、学習の基礎基本の定着化が考えられる。 ・「自分には良いところがあると思いますか。」の肯定的な回答は全国および大阪市の平均を上

		<p>回っており、自尊感情の低下に対して改善が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業以外の勉強時間は、大阪市平均の2倍以上の数値であるのに対し、学校の授業の予習・復習をしている時間については、全国平均を下回る対照的な結果となっている。
(3)	・中学校へのスムーズな進学に向けた新たな取り組みについて理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生において、中学校生活への不安解消策として、10月末から2か月ほどの期間、教科担任制を取り入れている。効果について後日アンケートを取り、次年度以降の実施について検討する。また、12月には、中学校の先生による出前授業をしていただいたり、生徒会による学校紹介を実施する予定である。 ・新任や若年教員が増えてきているなか、「わかる授業」ができる指導力の向上を図る。
協議資料	<input type="radio"/> 運営に関する計画 中間評価 <input type="radio"/> 平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果	
備考	傍聴者[0]名	